＜先週の説教から＞　＊こどもとの合同礼拝

『教育週間・合同礼拝―にんげんってなあに？』

武田真治牧師

詩　編　８：４～１０

私たちの教会では、年に2回『こどもたちとおとなの合同礼拝』を献げています。毎週の日曜学校礼拝にはカリキュラムが設けられており、それによれば、今日は詩編8篇が指定されています。ここには有名な言葉が含まれています。それが「あなたの天を、あなたの指の業を、わたしは仰ぎます。月も、星も、あなたが配置なさったもの。そのあなたが御心に留めてくださるとは人間は何ものなのでしょう。人の子は何ものなのでしょう、あなたが顧みてくださるとは。」です。まさに“人間とはなんだろう？”という聖書全体に渡る大事なテーマが取り上げられていることが分かります。

聖書では、特に最初の『創世記』の冒頭で“人間はなにものなのか？”という点について、人が“どのように造られたのか？”という点から示そうとしています。このことは、何より、私たち人間は、神様によって“造られた存在である”ということを前提としていることが分かります。それは、この身体も魂も生命さえも神様から与えられたものだということで、私たちは神様によって“生かされている”存在だということでしょう。そして、その上で“人間の造られ方”について聖書は“２つの造り方・造られ方があった”と語っているのです。その“造り方”にこそ“人間とはなにか？”ということがとてもよく表されているということなのです。

一つ目は《神様に似せて、神様の形に造られた》です。この場合の“形”とは、例えば犬は犬どうし、猫は猫どうしなら通じ合うように、各々、犬は犬の形を持ち、猫は猫の形を持つということです。その意味で人間が“神の形”を与えられるということは、神様の思いやお考えを知ることができるということなのです。なぜ、人間にそのような神の形が与えられているのかと言えば、今日の詩編にある「神に僅かに劣るものとして人を造り、なお、栄光と威光を冠としていただかせ、御手によって造られたものをすべて治めるように、その足もとに置かれました。」と。神様の御思いと御意志を教えられ、その御旨に従って“この世界を導く務め・役割”があるからです。それが何より人間の在り方として重要だと！

もう一つは《土のちりから造られ、命の息を与えられた》です。これは人間の“限界・有限性”を示しています。命の息がなくなれば、元のちり＝土に還る存在だと！

以上のことは、人間の持つ“二面性”を示しています。神の形を与えられている尊さ・素晴らしさを与えられている面といつか必ずこの世を去る限界も与えられている面とがあると。しかし、その二つの面があってこそ“人間”なのだということです。どちらか一方ではありません。両方とも今日の箇所にありますように「あなたが顧みてくださる＝神様からあたえられたもの」なのです！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．10月28日（水）休会
Ⅱ．10月29日（木）休会

聖書研究：　ヨブ記
祈祷主題：
担当者：　（水）　（木）
祈りに覚える人：

【教勢報告】

主日礼拝　男15 女74　計89
祈祷会　Ⅰ．男4　女1　計5　Ⅱ．男1　女4　計5
日曜学校　幼稚科5　小中科7　計12
ハンナの会(10月20日(火))　男0　女6　計6

【次週礼拝・召天者記念礼拝】　１１月　１日（日）

聖　書：　イザヤ書　２５：６～９
テモテへの手紙　Ⅱ、２：８～１３

説　教：「召天者記念礼拝―彼らも永遠の栄光へ」
武田　真治　牧　師

讃美歌：３７９(1)、３２、聖歌隊(532)、３８５、３００、８１(1～2)、９０(1)

【次週当番表】

司式:IH長老　奏楽:NY　礼拝:IY長老
配餐:HN　IK　IK　KY　各長老
献金：MY　MA　受付：NE　MH
会堂準備：AA　AT　SM　YE
看板：HS　週報：II　お花：MH

【次週集会予定】

礼拝前：・日曜学校(礼拝・分級)・聖書輪読会
・はこぶねルーム
礼拝後：・会堂管理委員会　・墓前礼拝(青葉園13:30～)

６７－４３

週　報

2026年度　教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

２０２６年　１０月　２５日

日本キリスト教団　上尾合同教会
牧　師　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549